

## 公益社団法人 北海道臨床工学技士会 ニュース

HACE

No.161

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人：大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目 3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

# 第32回北海道臨床工学会 昨年同様 Web 開催へ

■ 学会長	大宮 裕樹 (KKR 札幌医療センター)
■ 学会事務局長	加藤 敏史 (石狩病院)
■ 会 期	2021年11月14日(日)
■ 会 場	Web 開催 (Zoom)
■ 主 催	公益社団法人 北海道臨床工学技士会
■ 開 演	8:30~ (開会式 8:50)
■ 参加費	4,000 円 (一律)

この度、新型コロナウイルス感染症の広がりを考慮し、対面での開催を取りやめることとし、昨年同様に Web での開催とさせていただきます。

何卒、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

詳細は決まり次第ホームページ上で公開予定です。

第32回北海道臨床工学会ホームページ

[http://hcea.umin.ac.jp/info\\_study/congress32.html](http://hcea.umin.ac.jp/info_study/congress32.html)



## 公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.161

第32回北海道臨床工学会 Web 開催のお知らせ	1
北海道臨床工学会に参加される皆様へ	2
第4回危機管理セミナー開催	2
第1回人材活性セミナー × 第25回卒後教育セミナー開催	3
空知支部学術講演会開催	3
RM ニュース	4
9月からの予定	4
臨床工学技士に関する法令の改正	5
北海道臨床工学技士会 第1回フォトコンテストのご案内	6,7
頑張り！フレッシューズ	8
北海道臨床工学技士会メーリングリスト参加申し込みのお願い	9
会員情報変更の届出のお願い	9
メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスのご案内	9

# 北海道臨床工学会に 参加される皆様へ

## ～投稿原稿提出についてのお願い～

今回、発表される一般演題を会誌に掲載いたします。掲載を希望される方は、「投稿・執筆規定」(2018年10月改訂版)に従い、下記の期日までにチェックリストを添えて投稿原稿を提出して下さい。

編集用に用意しているパソコン(Windows)には、MicrosoftのWord2010とPowerPoint2010に対応できるようにしています。原稿はWord、図表にはPowerPointを用い、上記環境にて正常に動作するデータでお送り下さい。

また、図表は白黒に修正してからお送り下さい。

なお、公益社団法人北海道臨床工学技士会会誌は現在ISSN、医学中央雑誌、メディカルオンラインに登録しております。

今回、発表される内容を他学会にて全く同じ内容で論文投稿の予定がある場合は二重投稿とみなされますので、注意をお願いいたします。

投稿・執筆規程は  
こちらで確認できます



[http://hcea.umin.ac.jp/files/pdf/2019/30th\\_hace\\_toukougitei/toukou\\_kitei2019\\_syousai.pdf](http://hcea.umin.ac.jp/files/pdf/2019/30th_hace_toukougitei/toukou_kitei2019_syousai.pdf)

**提出はメールでお願い致します。**

**締め切り期日：2021年12月17日(金) 必着**

原稿送付先

〒070-8610 北海道旭川市金星町1丁目1-65  
市立旭川病院 臨床工学室  
澤崎 史明 <Sawasaki Fumiaki>

原稿提出先メールアドレス

Mail:f\_sawasaki@ach.hokkaido.jp

※後日、投稿の意志に変更が生じた場合も、  
上記まで連絡をお願いいたします。

## 第4回危機管理セミナー開催

2021年7月8日(木)に、第4回危機管理セミナーがZoomを使用し開催されました。

今回のテーマは、「経験から学ぶ災害対策～東日本大震災と透析医療～」となっていて、文字通り災害対策について講師の経験を踏まえご講演いただき、災害対策について再考する良いセミナーとなっていました。

第一部では、危機管理委員会の國木委員長が「北海道臨床工学技士会の災害情報共有体制について」と題して、北海道臨床工学技士会としての災害発生時の情報共有体制構築の取り組みについてご講演していただきました。

危機管理委員の皆様は、2018年の胆振東部地震での教訓を活かし、災害時の情報共有マニュアルの整備を行い、いつ発生するかわからない災害に備えています。情報共有マニュアルは、北海道臨床工学技士会のホームページで公開されています。会員の皆様は、災害時にご自身の地域医療を守るためにも、平時から災害対策に意識を向け、有事に落ち着いて行動できるようにマニュアルを参照していただき、備えていただきたいと思います。

第二部では、東北大学病院の宮崎真理子先生から「大災害時の透析医療継続に備えて～自施設のBCPから広域連携まで～」と題して、ご自身が経験された2011年の東日本大震災発生時の経験を通して、災害対策にどのように取り組むかという内容でご講演していただきました。

題名内のBCPとは、事業継続計画(Business continuity planning, BCP)を示し、企業が自然災害や大火災などの緊急事態に遭遇した際に、損害を最小限に抑えつつ事業の継続や復旧を図るための計画のことです。災害時は限られた時間、人員、物資で目標達成のために協力していくことが求められ、そのためには日々の訓練が大切であると話されていました。東北地域では、年に2回の災害情報共有訓練を実施し、県を跨いでの広域連携の確認を行い、綿密な連携・協力体制の構築に

尽力されているそうです。

大災害を経験された先生のお話は大変重みがあり、自分自身も災害対策に関して今一度再確認し、いつか起こりうる災害に対応できる心構えをする必要性に気付く良い機会を得ることができたセミナーとなりました。

平日のセミナーにも関わらず、ご講演をいただきました講師の先生方、ご参加いただいた会員の皆様はこの場をお借りして感謝申し上げます。

広報 東



東北大学病院 宮崎 真理子先生

## 第 1 回人材活性セミナー 第 25 回卒後教育セミナー開催

2021年7月19日(土)、第1回人材活性セミナー×第25回卒後教育セミナーが Web 開催されました。講師には株式会社北海道医療情報サービス 石田 八千代先生をお招きし、31名の方が参加されました。

石田先生は昨年の10月に開催された第20回卒後教育セミナーではじめて講師にお招きし、接遇について教えていただきました。2回目となる今回は『共に育つ職場づくり』をテーマに、人材育成を中心に講演いただきました。一人ひとりが自分の能力に自信を持ち、十分に実力を発揮しあえる環境を整えるために必要な心の栄養「ストローク」(詳しくはストロークエコノミー/ストロークの経済で検索)や、会話や質問を通して相手の考えや気づきを引き出す「コーチング」という育成法を中心に教えていただきました。

特にコーチングについてはとても学ぶことが多く、相手の考えを引き出すための「傾聴」や「質問」の方法や、例えば「相手への評価は主観的にではなく客観的に伝える」などすぐに実践できるものが多くありました。また、途中 Zoom を活用しグループやペアに分かれてのグループワークもあり、今まで以上に受講者が参加できるセミナーでした。

今回、なかなか学ぶ機会の少ない職場づくりや人材育成についてわかりやすく学ぶことができました。ぜひ今後も、このようなセミナーを継続して開催し、多くの方に参加していただけたらと思います。

最後に、講師の石田先生、人材活性委員会、教育委員会の皆様はこの場を借りて感謝致します。

広報 小玉



講師 石田 八千代先生

## 空知支部学術講演会 開催

2021年8月26日(木)に、「2021年北海道臨床工学技士会 空知支部学術講演会」が Web セミナー形式で開催されました。小林 勝支部長の開会の挨拶から始まった講演会のテーマは、「～新型コロナウイルス感染症に対する臨床工学技士の関わり～」となっており、日々最前線で治療にあたっている講師の皆様から貴重なお話を聴くことができました。

第一部では、札幌医科大学附属病院 臨床工学部係長の橋本佳苗先生から「感染防護教室」というお題でご講演がありました。動画を使用した内容となっており、個人防護具:PPE の使用方法について分かりやすくご説明していただきました。

# ◆RM ニュース◆

## ＜人工透析患者が死亡 器具ゆるみ 血液流出か 病院が謝罪 京都＞

京都府の病院で1月、80代の男性患者が人工透析を受けた際、血液が大量に流出して意識不明となり、その後死亡していたことが27日、同病院を運営する医療法人への取材で分かった。器具を誤って使用したとみられ、病院は医療事故として遺族に謝罪した。

同病院によると、透析治療で男性の血液を体内に戻す際、別の管から血液が流出。看護師が、流出防止用の器具が緩んだ状態で透析を始めたこととみられる。異常を示す警報音が鳴ったが、看護師らは警報を切るなどして作業を継続。男性は容体が急変して翌月に死亡したという。同病院の事故調査委員会が報告書をまとめ、第三者機関による調査を受けているという。

同病院は「事案を重く受け止めている。原因を明確にして再発防止に努めたい」としている。

2021年4月27日(火) 京都新聞配信

# 9月からの予定

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。

新型コロナウイルス感染拡大による中止や延期の可能性もありますので、各記載のWebサイトをご確認ください。

\*\*\*\*\*

臨床工学技士の業務範囲追加に伴う  
厚生労働大臣指定による研修  
(告示研修 2021)

2021年10月30日から開始予定

<https://www.ja-ces.or.jp/kokuji-kenshu/>

\*\*\*\*\*

2021年11月14日(日)

第32回北海道臨床工学学会

Web開催へ変更

[http://hcea.umin.ac.jp/info\\_study/congress32.html](http://hcea.umin.ac.jp/info_study/congress32.html)

\*\*\*\*\*



第二部では、根室市立病院 医療技術部 総括技士長の西村伸也先生から「COVID-19 陽性患者と濃厚接触者の透析及び地域間連携」という内容でご講演していただきました。市中感染が広がっている現状で、まず初めに患者の行動歴や発熱などの症状確認が大切であり、適切なタイミングでスクリーニングを行えるように普段から注意を払うことが肝要であると感じました。患者が流行感染地域に行ったことを申告していない例や、発熱に対して解熱剤を服用していた例などが紹介されており、興味深い内容となっていました。

第三部では、市立札幌病院 臨床工学技士科 猫宮伸佳先生から「COVID-19 の透析患者を受け入れて - 市立札幌病院の1年半 - 」と題し、COVID-19 患者の治療に携わり続けている現状についてご講演していただきました。感染流行の早期から、多くの COVID-19 陽性患者の治療に関わり、蓄積されたデータを提示していただきました。私が想像しているよりも多くの患者を受け入れ、幾度となく隔離区域の見直しが行われ、日々増加していた陽性患者を受け入れ続けている厳しい現状が伝わってきました。

今回の取材を通して、今この瞬間も最前線で治療にあっている我々の仲間たちがいるということ強く感じました。今後も、患者のみならず医療従事者にも平穏な日々が戻ることを切に願います。

ご多忙中、ご講演頂いた先生方、参加された皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

広報 東



空知支部 小林支部長

# 臨床工学技士に関する法令の改正

## ■ 令和3年法律第49号 2021年7月9日

(臨床工学技士法の一部改正)

第十一条 臨床工学技士法(昭和六十二年法律第六十号)の一部を次のように改正する。

第三十七条第一項中「操作」の下に「及び生命維持管理装置を用いた治療において当該治療に関連する医療用の装置(生命維持管理装置を除く。)の操作(当該医療用の装置の先端部の身体への接続又は身体からの除去を含む。)」として厚生労働省令で定めるもの(医師の具体的な指示を受けて行うものに限る。)」を加える。

### ～法律改正により追加される業務～

生命維持管理装置を用いた治療において当該治療に関連する医療用の装置(生命維持管理装置を除く)の操作(当該医療用の装置の先端部の身体への接続又は身体からの除去を含む)

- ① 手術室又は集中治療室で生命維持管理装置を用いて行う治療における静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続、薬剤を投与するための当該輸液ポンプ又は当該シリンジポンプの操作並びに当該薬剤の投与が終了した後の抜針及び止血(輸液ポンプ又はシリンジポンプを静脈路に接続するために静脈路を確保する行為についても、「静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続」に含まれる。)
- ② 生命維持管理装置を用いて行う心臓又は血管に係るカテーテル治療における身体に電氣的刺激を負荷するための装置の操作
- ③ 手術室で生命維持管理装置を用いて行う鏡視下手術における体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラの保持及び手術野に対する視野を確保するための当該内視鏡用ビデオカメラの操作

## ■ 令和3年政令第二百三十三号 2021年7月9日

臨床工学技士法施行令の一部を改正する政令

内閣は、臨床工学技士法(昭和六十二年法律第六十号)第二条第二項及び第四十二条の規定に基づき、この政令を制定する。

臨床工学技士法施行令(昭和六十三年政令第二十一号)の一部を次のように改正する。

第一条第二号中「シャント」の下に「、表在化された動脈若しくは表在静脈」を加える。

### ～政令により追加される業務～

血液浄化装置の穿刺針その他の先端部の表在化された動脈若しくは表在静脈への接続又は表在化された動脈若しくは表在静脈からの除去

※従来の業務範囲であった「シャントへの接続又はシャントからの除去」に追加

## ■ 令和3年厚生労働省告示第二百七十七号

臨床工学技士法施行令の一部を改正する政令附則第二項の規定に基づき厚生労働大臣が指定する研修

臨床工学技士法施行令の一部を改正する政令附則第二項の規定に基づき厚生労働大臣が指定する研修は、同令による改正後の臨床工学技士法施行令(昭和六十三年政令第二十一号)第一条第二号に掲げる行為(シャントへの接続及びシャントからの除去を除く。)に必要な知識及び技能を修得するための研修であって、公益社団法人日本臨床工学技士会が実施するものとする。

臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修(告示研修 2021)の詳細については公益社団法人 日本臨床工学技士会の特設ホームページをご参照ください。

(<https://www.ja-ces.or.jp/kokuji-kenshu/>)





# 北海道臨床工学技士会

## 第1回 フォトコンテスト



『わがまち自慢』



☆入賞賞品☆

最優秀賞	1名	アマゾンギフト券	2万円分
優秀賞	2名	アマゾンギフト券	5千円分
大宮会長賞	1名	アマゾンギフト券	5千円分
阪本委員長賞 (脇田顧問選考支援)	1名	アマゾンギフト券	5千円分
参加賞	20名	アマゾンギフト券	500円分



応募や投票については期日になり次第こちらから！！



<http://hcea.umin.ac.jp/index2.html>



多数の応募・投票 お待ちしています！！

公益社団法人 北海道臨床工学技士会 人材活性委員会主催

# 作品募集のご案内！！

## ○募集テーマ

### わがまち自慢

(風景やグルメなど街の特色を生かした、わがまち自慢が伝わる写真！！)



## ○参加方法

応募者がテーマに沿って撮影した未発表の写真に自慢したい事柄を添え、北海道臨床工学技士会 HP 特設ページの応募フォームより応募。

※(特設ページは募集期間に掲載されます)

会員は技士会会員番号を必ず入力ください。また、会員照合のためハンドルネーム欄にイニシャルを姓・名の順で入力下さい。賛助会員は会員番号欄に「0」を入力し、ハンドルネーム欄に所属名の記載が必要となります。

### ※応募上の注意※

- ・ 写真コメントがない場合は応募ができませんのでご注意ください。
- ・ レタッチソフト等の合成、変形等の画像加工は不可。
- ・ ファイルフォーマット 5.12MB 以下の JPEG ファイルで 1人1点まで

## ○参加資格

北海道臨床工学技士会正会員(賛助会員含む)の方

## ○応募期間

**2021年9月1日～2021年10月10日**

## ○選考方法

ホームページ上より会員による投票!

投票者は特設ページの投票フォームより参加ください。

投票される方は、会員番号の入力で参加可能。

## ○投票期間

**2021年10月11日～2021年11月7日**

## ○受賞結果発表

**2021年11月14日**

**第32回 北海道臨床工学会 会場にて発表!**

## ○参加賞について

受賞されなかった応募者・投票者の中で抽選し参加賞が当たります!



## ○賞品の発送

12月上旬(応募時のメールアドレスへデジタルギフトとして送付予定)

# 頑張れ！フレッジャーズ

このコーナーは、2020年度の卒業生で北海道臨床工学技士会より表彰を受けた道内臨床工学技士養成校の卒業生に、現在の状況や今後の抱負など熱い思いを語ってもらうコーナーです。

今回は、2021年3月に北海道科学大学を卒業し、医療法人 友秀会 伊丹腎クリニックにて勤務中の柿崎美里さんです。



伊丹腎クリニック 柿崎美里さん

私は、2021年3月に北海道科学大学 保健医療学部 臨床工学科を卒業し、4月から医療法人 友秀会 伊丹腎クリニックで勤務しています。

就職するにあたって、患者様と密に接することができ、共に治療していくことができる透析業務を選びました。

日々透析スタッフとして患者様と関わっていく中で、どのようにコミュニケーションをとって患者様から信頼を得ることができるのか悩むこともたくさんあります。しかし、患者様に助けてもらうこと、心が救われることもたくさんあります。穿刺や抜針時に上手になったねと言ってくれたときが、今までの私の成長を見ていただけたのだなと嬉しく思い、今後も頑張ろうと思う瞬間です。

最近では穿刺も始めて、少しずつではありますが、穿刺できる患者様の人数が増えました。

穿刺の技術を向上させるために、一人ひとりの血管の特徴や自分自身が実際に穿刺して感じた

ことなどを記録するようにしています。その記録を見ることで2回目以降に復習することができ、繰り返し同じミスをしないようにしています。

今後の課題は、患者様にイレギュラーな出来事が起こったとき適切な処置ができるようになることです。今は先輩に血圧や患者様の状態などを伝えてどうすべきか指示をもらっている状況なので、患者様にとって最も適切な処置ができるように努力していきたいです。また、穿刺のスキルを上げるためにエコー下穿刺の練習も行っているため、穿刺ミスをなくすためにも練習を重ねて自分のものにしていきたいです。

将来の目標は、スタッフや患者様から尊敬される臨床工学技士になることです。正直、働き始めたばかりということもあって、具体的に将来像を考えることはできていません。漠然とではありますが、周囲の方々から見て仕事面、生活面全てにおいて恥じることのない生き方ができる臨床工学技士として歩んでいきたいです。





# 北海道臨床工学技士会メーリングリスト参加申し込みのお願い

技士会の情報網拡充のためメーリングリストを作成しておりますので是非ともご参加下さい。当会運営情報や学会、セミナーの案内など重要な情報を配信します。また、災害発生時には、情報収集し共有する手段としての活用を検討しております。

**技士会の情報網拡充のため、是非ともご参加ください。**



※申込みは、当会ホームページの「メーリングリスト」よりお願いいたします。

# 会員情報変更の届出のお願い

所属施設変更や自宅住所変更された場合の連絡が来なく、ニュースや郵送物の返送がこの時期多くなっております。会員情報（所属施設、自宅住所など）変更がありましたら道臨工 HP「会員情報変更」よりお願いいたします。



※メールアドレスを含めた会員情報の変更があった際は、速やかに変更手続きを行ってください。

## 《メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスのご案内》

「北海道臨床工学技士会誌」に掲載された過去の論文を電子化し株式会社メテオが提供する文献検索サイト、メディカルオンラインで閲覧することが可能です。

2021年度アカウントについて(2022年3月末日まで有効)

**当会専用 ID : 1100007199-06**

**パスワード : mkiwb65g**

当会雑誌名①：北海道臨床工学技士会誌  
雑誌 URL : <http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ey2rinsy>



雑誌 URL へ接続しますと、北海道臨床工学技士会誌のアーカイブ画面へ遷移します。画面右側の会員認証欄に上記専用 ID/パスワードを入力後、会誌の閲覧が可能となります。

**学会誌 閲覧方法**

学会誌無料閲覧サービスをお申込みいただきありがとうございます。  
閲覧方法(手順)について、ご説明させていただきます。

- ① 雑誌名URL:<http://mol.medicalonline.jp/>.....  
インターネット上で雑誌名URLにアクセスすると、メディカルオンライン掲載中の貴学会誌アーカイブが表示されます。
- ② 学会様専用アカウント(ID・PW)でログインを行い、閲覧したい巻号をクリックします。
- ③ 論文タイトルが表示されますので、ご覧になりたい「アブストラクト」。「全文ダウンロード」をクリックしてください。

学会誌アーカイブ

論文タイトル

アブストラクト

全文PDF

メディカルオンラインでの検索は自由。  
他学会誌・商業誌はアブストラクトのみ無料で閲覧できます。

※ご利用に関しては、「Medical\*Online会員規約」に準じます。  
一定期間内に大量に論文をダウンロードした場合、該当の期末までのご利用を一時的に停止させていただきます。また、サイト内に広告が表示される場合がございますので予めご了承ください。

# Impella®

The World's Smallest Heart Pump

IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル

販売名: IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル  
承認番号: 22800BZ100032000  
一般的名称: 循環補助用中心内留置型ポンプカテーテル  
医療機器クラス分類: IV 高度管理医療機器  
特定保険医療材料機能区分: 193 補助循環用ポンプカテーテル

販売名: IMPELLA 制御装置  
承認番号: 22800BZ100031000  
一般的名称: 循環補助用中心内留置型ポンプカテーテル制御装置  
医療機器クラス分類: III 高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器  
選任製造販売業者: 日本アビオメッド株式会社  
外国特許承認取得者: ABIOMED, Inc.

Impella 2.5 Impella CP SmartAssist Impella 5.0

Impella 制御装置 Impella Connect

日本アビオメッド株式会社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1 室町東ビルディング12階  
Tel: 03-4540-5600 (代表) Fax: 03-6740-1479 <https://www.abiomed.jp/> IMP-2306v1

# New

## 多用途透析用監視装置

# DCS-200Si

高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号: 23100BZX00067000

日機装株式会社  
本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL:03-3443-3751 FAX:03-3473-4965

# JIMRO Adacolumn®

## 血球細胞除去用浄化器

### アダカラム® 保険適用

使用目的又は効果、禁忌・禁止、使用上の注意等については添付文書をご参照ください。 医療機器承認番号: 21100BZZ00687000

資料請求先  
株式会社 JIMRO 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル  
TEL:0120-677-170(フリーダイヤル) FAX:03-3469-9352 URL: <https://www.jimro.co.jp>

株式会社竹山

生命と健康への貢献

「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」という創業以来の使命感のもと社会貢献度の高い仕事と誇りを持ち、日々努力を続けております。

Medical Support Service Provider

- 血液浄化
- 低侵襲機器
- 内視鏡
- 整形外科
- 「専門領域に特化した支援・サポート」
- 眼科
- 脳神経外科
- ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に特化した専門担当部門を設けています。
- テクニカルサポート
- 循環器
- 循環器外科
- 画像診断機器

株式会社 竹山  
代表取締役社長 土田 拓也  
本社/〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5 ☎011-611-0100(代表) <http://www.takeyama.co.jp>  
※札幌市カトリックセンタービル3階/札幌市東区北15条1丁目1番10号(カトリックビル4F) ☎011-700-5833 <http://www.takeyama.co.jp/villageplus/>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

札幌圏 中央支店: ☎011-859-8714 北支店: ☎011-859-8715 新札幌支店: ☎011-859-8717  
北支店: ☎011-859-8712 札幌大宮支店: ☎011-859-8713 市内営業支店: ☎011-859-8716  
札幌駅前支店: ☎011-859-8711 札幌七条支店: ☎011-6716-6263

道央・道南圏 室蘭支店: ☎0143-45-1221 苫小牧支店: ☎0144-53-2101 小樽支店: ☎0134-29-4524  
岩見沢支店: ☎0126-25-6992 函館支店: ☎0138-83-5000

道東・道北圏 網走支店: ☎0154-23-2241 北見支店: ☎0157-31-3224 稚広支店: ☎0155-35-5800  
旭川支店: ☎0166-73-3011 空知支店: ☎0125-54-3465 道北支店: ☎01654-3-9955

道一圏 東京支店: ☎03-3814-0103 横浜営業所: ☎045-232-3310

# AsahiKASEI ABH® Series

生体適合性及び抗血栓性に優れています。

## ABH®-PA

高度管理医療機器 血液透析用濾過器  
旭中空糸型血液透析用濾過器 ABH-PA  
承認番号: 22900BZX00045000

## ABH®-LA

高度管理医療機器 血液透析用濾過器  
旭中空糸型血液透析用濾過器 ABH-LA  
承認番号: 23000BZX00337000

アルブミンの漏出を抑えたタイプです。

旭化成メディカル株式会社 [www.asahikasei-medical.co.jp](http://www.asahikasei-medical.co.jp)  
No.2019.3-2783\_180x50\_1C

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター  
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役会長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111

‘TORAY’

Innovation by Chemistry

生体適合性を追求した  
モイストタイプ  
ヘモダイアフィルター

販売名:トレライトHDF  
一般的名称:血液透析濾過器  
医療機器承認番号:22800BZX00367000  
規制区分:高度管理医療機器  
医療保険償還上の取り扱い:ヘモダイアフィルター  
製造販売業者:東レ株式会社



トレライト®HDF

NVF

販売業者  
東レ・メディカル株式会社  
<https://www.toray-medical.com/>

経口そう痒症改善剤

劇薬、処方箋医薬品<sup>※</sup>

薬価基準記載

ナルフラフィン塩酸塩ODフィルム2.5μg「ニプロ」

(先発・代表薬剤:レミッチOD錠2.5μg)

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売  
(資料請求先)  ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号  
<https://www.nipro.co.jp/>

2021年5月作成 (H)

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HCSMA Version 7  
Hospital Management System



WEBアプリケーション フルモデルチェンジ

位置情報検知システム

 HOSBE



位置情報検知システムは、Beaconから送信されるBLE (Bluetooth Low Energy) の電波をレーザーで受信することで位置情報を把握するシステムです。

株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL:011-644-6100 FAX:011-644-6101



定評のあるシンプルな操作性を充実させ  
多彩なHDF療法へ対応

多用途透析装置

JMS透析用コンソール GC-X01

高度管理医療機器 / 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号 22900BZX00114000

製造販売業者  
株式会社 ジェイ・エム・エス  
<http://www.jms.cc>

■お問い合わせ先  
東京本社 TEL (03)6404-0602  
〒140-0013 東京都品川区南大井1-13-5

2021.05 JMS

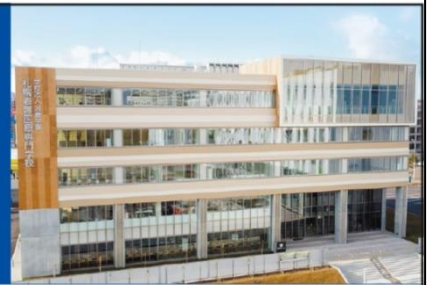


# 札幌看護医療専門学校

# 開校。

北海道ハイテクの医療は新札幌へ。

- 設置学科 ●看護学科 ●視能訓練士学科  
●歯科衛生士学科 ●臨床工学技士学科



学校法人 滋慶学園

札幌看護医療専門学校

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1番5号  
TEL 011-801-8343

## VT900A・VT650

## ガス流量テスト



## 呼吸器の点検

## 始めてみませんか

FLUKE.

Biomedical  
Authorized Distributor

【お問い合わせ先】

大正医科器械株式会社

本社営業部：〒551-0002 大阪市大正区三軒家東 2-2-22  
電話：06-6553-9666 FAX：06-6553-9305

針刺し防止機能付き止血弁内蔵透析用留置針

## Happycath C-PRO

- フルカバータイプのセーフティ機能
- 多数回弁の採用により、  
圧迫止血や鉗子を用いたクランプ操作が不要



メディキット株式会社

発売元：メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201  
製造販売元：東郷メディキット株式会社 〒893-0062 宮崎県日向市大字日知屋字龜川 17148-6 TEL.0982-53-8000  
<http://www.medikit.co.jp/> <http://www.togomedikit.co.jp/>

医療機器承認番号：21400BZZ00343000 販売名：ハッピーキャスV

## Active Medical

株式会社アクティブメディカル

《本社》

〒113-0024 東京都文京区西片1-15-15 KDX春日ビル5F  
TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016

《支店》

西東京/横浜/千葉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路

最新医療機器と最新知識の提供を目指す

株式会社アクティブメディカルは、東京・横浜・千葉・札幌・旭川・帯広・室蘭・釧路に拠点をおいて、医療機器・医療材料の総合商社として設立いたしました。循環器、循環器内科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科の分野に特化し、医療機器・材料販売会社としてのハードウェアのみならず、最新情報・技術等の医療専門分野におけるソフトウェア・ユースウェアスペシャリストとして、信頼されるサービス提供の実現に努めております。専門スタッフが豊富な知識技術経験を駆使して医療現場をフルサポートいたします。

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当理事	旭川リハビリテーション病院	臨床機器管理課	木村吉治
広報委員長	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
編集委員	旭川医療センター	統括診療部	本手 賢
	旭川医科大学病院	診療技術部	南谷克明
	旭川リハビリテーション病院	臨床機器管理課	東 俊輔
	旭川厚生病院	臨床工学技術科	小玉麻里菜

印刷

株式会社 プリントパック

<http://www.printpac.co.jp/>